

科目名・単位数	3年コース選択(陶芸)	(4)単位	学習レベル	応用
---------	-------------	---------	-------	----

学習目標 ① 陶芸専攻2年で学んだ造形基礎を踏まえ、技術的な進歩と計画性の充実を図る。 ② 3年間の集大成として、陶芸の作品化に焦点を絞り見られることを意識させ作品の向上をはかる。 ③ 鑑賞活動を積極的に行い、芸術作品を味わいながらそれぞれの感受性を高め、自己の制作活動を深化させる。				
---	--	--	--	--

学期	学習内容	学習のねらい	提出物
前期 (4月～9月)	4月 オリエンテーション	・授業のあり方や持ち方を理解し、スムーズな授業の進行を図る。	
	5月 電動ろくろ課題 大皿/壺 成形 高台削り	・土の関係と形を考え、制作の各プロセスを理解と進行のタイミング習得 ・早い時点で基本的技術をマスターする。	10作品程度
	6月 手練り作品制作 「抽象的陶芸作品」 7月	・皿などのような機能性だけでなく造形的な作品づくりを行う ・自由な発想を育てる。 ・大きな作品の挑戦	作品
	9月 本格シーサー作り	・陶器だけに限らず造形としての楽しみを知り発展させる。	作品
後期 (10月～3月)	10月 陶芸自由課題 中間発表会	・これまでの体験から自己がイメージできる造形を計画的に作業させ積極的な造形活動を促す。 ・3点以上の作品を制作する。	作品
	2月 作品展示鑑賞会 クリエイティブアーツコース卒業作品展	・これまでの作品を展示し、展示し見てもらう立場から次回への作品制作の意欲としたい ・見学のお客様の感想をもとに反省会を行う。	計画書と作品 感想用紙

評価の観点と方法 観点 ① 関心・意欲・態度を評価する。 ※出席状況や授業態度も含まれる。 ② 作品制作の技術的修練を積極的に行っているか。 ※自己の課題を発見し積極的に試みる ③ 鑑賞を通じて、自己の感性をいかに向上させているのかを評価する。 方法 ①上にあげた観点を総合的に評価する。				
--	--	--	--	--

使用教科書・副読本	なし	実習費	3,000 円
教材・道具等	タオル・着替え		

